

# 1 級 損 害 保 険 登 録 鑑 定 人

## 保険・一般常識 試験問題用紙

(2024年1月)

### 注 意 事 項

1. 試験責任者の指示があるまで開かないでください。
2. 解答用紙は試験問題用紙の最初の頁に入っています。試験開始の合図があったら解答用紙があることを確認してください。解答用紙がない場合は直ちに申し出てください。
3. 解答用紙には受験番号、氏名、受験地を必ず記入してください。  
受験番号は6桁の数字を左の欄から順に正確に記入し、その数字と同じ箇所をマークしてください。記入漏れや間違った内容をマーク・記入すると採点ができませんので、解答した内容はすべて無効(得点なし)となります。また、解答を解答用紙以外に記入しても無効となります。
4. 解答はすべて解答用紙に記入し、解答用紙のみ提出してください。問題用紙は持ち帰って結構です。
5. 解答は正誤式・選択式の場合は、解答用紙の該当する問題の解答欄をぬりつぶしてください。記述式の場合は、解答用紙の該当する問題の解答欄に解答を楷書で記入してください。
6. 選択式の問題で1つの問題に指定数を超えるマークをつけた場合、その問題は超過した解答数に応じて減点または0点となります。
7. HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシルを使用してください。HBの鉛筆またはHBの芯を用いたシャープペンシル以外(万年筆、ボールペン、サインペン、色鉛筆等)は使用不可です。
8. 訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムで完全に消してください。消し方が不十分な場合には解答が正しく読み取れないことがあります。修正液等、プラスチック製消しゴム以外は使用不可です。
9. 解答用紙の読み取りは機械処理をしますので、折り曲げたり、汚したり、記入欄以外の余白および裏面には何も記入しないでください。
10. カンニング等の不正行為があったと認められた場合は、当該試験は不合格とし、原則としてその場で試験の中止と退室を指示され、それ以降の受験はできなくなります。
11. トイレや急な体調不良等を含め、一旦退席された場合の再入室はできませんので、ご注意ください。
12. 試験時間は正味50分です。
13. 試験問題の内容に関する質問は、いっさい受け付けません。
14. 試験時間中の私語は禁止します。
15. 資料等の使用はいっさい認められませんので、筆記用具、電卓以外はすべてしまってください。
16. 試験時間中は、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の通信機能・記憶機能を有する機器の使用は、時計として使用することを含めていっさい認められませんので、あらかじめ電源を切っておいてください。
17. 「受験票」および「写真が貼付されている公的本人確認書類」は机の上の見やすいところに置いてください。
18. 問題用紙、解答用紙の印刷に乱丁・落丁があれば申し出てください。

マークシート方式による正誤式、選択式または記述式の問題です。解答は問題に応じて  
 解答用紙の該当するマークを塗りつぶすか、または楷書で解答欄へ記入してください。

**【問題 1】**

火災保険の「物件の種類と判定」に関する次の 1 および 2 の記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢からそれぞれ 1 つずつ選び、その番号を答えてください。

1. 「物件の種類と判定」および「一つの建物」について

- ア. 物件の種類における共同住宅とは、一つの建物が 1 世帯の生活単位となる戸室を 2 以上有するものをいい、各戸室または建物に付属して各世帯が炊事を行う設備の有無は問わない。
- イ. 保険期間のいかんを問わず、工事完成後 M 構造、T 構造の共同住宅となる建築中の建物は、住宅物件となる。
- ウ. 工場物件の判定において、柱がない壁式構造の建物は、基礎および屋根のいずれも独立して具備していれば、「一つの建物」と判定する。

《選択肢》

- |             |          |          |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 2. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 4. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

## 2. 建物の構造級別について

- ア. 工場物件において、工場敷地内で使用される車両（主として建物内で使用されるものを含む）は、2級と判定される。
- イ. 一般物件の建物の構造級別の判定にあたり、一つの建物が2種以上の異なる柱の部分からなる場合には、それぞれの柱により判定される複数の構造級別のうち、最も低い基本保険料率の構造級別をもってその建物全体の級別とする。
- ウ. 工場物件（一般建物以外の屋外設備）において、屋外配管設備は2級と判定される。

## 《選択肢》

- |             |          |          |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 2. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 4. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

**【問題2】**

次の1～8の記述は、店舗総合保険について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. この保険では、水災による床上浸水で保険の対象に一定の損害が発生した場合、水害保険金が支払われるが、ここでいう床上浸水とは、居住の用に供する部分の床（畳敷または板張等のものをいい、土間、たたきの類を含む）を超える浸水をいう。
2. この保険において、家財が保険の対象である場合、被保険者と生計を共にする親族の所有する家財で保険証券記載の建物に収容されているものは、保険証券に明記されていれば保険の対象となる。
3. この保険では、設備・什器等を保険の対象とし、保険証券記載の建物内にあった業務用の預貯金証書が盗まれた場合、保険契約者または被保険者が盗難を知った後、ただちに預貯金先あてに被害の届出をし、かつ、盗難にあった預貯金証書により預貯金口座から現金が引き出された事実があったことが保険金支払いの条件となる。
4. この保険では、台風による水災を被り、水害保険金が支払われる場合で、保険の対象が損害を受けたため残存物の取片づけに費用（残存物の取りこわし、清掃、搬出に係る費用）を要するとき、残存物取片づけ費用保険金が支払われる。
5. この保険では、保険契約者または被保険者の詐欺または脅迫によって保険会社が保険契約を締結した場合、保険会社は保険契約者に対する書面による通知をもって保険契約を無効とすることができる。
6. この保険では、保険契約が失効となる場合、保険会社は未経過期間に対し日割をもって計算した保険料を返還する。
7. この保険では、雪災の事故によって保険の対象が損害を被った結果、損害が生じた保険の対象を復旧するために要するその損害の原因の調査費用が生じた場合、保険会社の承認を得て支出した必要かつ有益な費用として修理付帯費用保険金が支払われる。
8. この保険において、損害保険金の支払額がそれぞれ1回の事故につき保険金額（保険価額限度）の80%に相当する額を超えた場合、保険契約は損害保険金支払いの原因となった損害の発生した時に終了する。

## 【問題3】

Aさんは、同一敷地内に所在し、自分が所有する店舗専用のX建物およびY建物を保険の対象として、甲保険会社および乙保険会社に、付保割合条件付実損払特約を付帯して普通火災保険（一般物件）契約をそれぞれ締結していましたが、火災によりこれらの建物に損害が生じました。保険契約の内容および損害の状況は、次のとおりです。

この場合、X建物およびY建物の損害に対して支払われる損害保険金について、それぞれの金額を解答用紙に記入してください。

なお、保険金の算出にあたっての計算は、その都度端数処理を行わないで連乗するものとし、算出した保険金の額に1万円未満の端数が生じた場合には、千円の位を四捨五入して万円単位で答えてください。

	契約時の保険価額	約定付保割合	損害額	罹災時の保険価額 (時価額)
X建物 (甲保険会社)	4,500万円	80%	3,500万円	5,000万円
Y建物 (乙保険会社)	3,000万円	60%	1,000万円	2,500万円

**【問題4】**

火災保険の特殊契約方式に関する次の記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から1つ選び、その番号を教えてください。

- ア. 付保割合条件付実損払特約は、一般物件・工場物件・倉庫物件の1級構造に加え、住宅物件もM構造に限り付帯することができる。
- イ. 火災通知保険特約における保険の対象は、商品および製品に限られ、製造工程中の仕掛品、原材料および副資材は除かれる。
- ウ. 火災通知保険特約では、不正通知の防止を図るため、罹災直前の通知日における通知額が実際の在庫価額に不足していた場合、支払われる保険金が削減される。

## 《選択肢》

- |             |          |          |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 2. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 4. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

## 【問題5】

店舗休業保険および利益保険に関する次の記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から1つ選び、その番号を答えてください。

- ア. 店舗休業保険の保険金額は、1事業所ごと1日あたりの粗利益額を基準に所定の額を限度として定めるが、この粗利益には営業利益のほかに人件費、発送費、広告費などの経費や税金も含まれる。
- イ. 店舗休業保険では、騒擾およびこれに類似の集団行動・労働争議によって保険の対象が損害を受けた結果、営業が休止または阻害されたために生じた損失は保険金支払いの対象とならない。
- ウ. 利益保険は、保険の対象が火災、落雷、破裂・爆発および風災・雹災・雪災により損害を受けた結果、営業が休止または阻害されたために生じた損失（休業損失）を補償するものである。

## 《選択肢》

- |             |          |          |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 2. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 4. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

## 【問題6】

「地震保険に関する法律」に基づく地震保険に関する次の1および2の記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢からそれぞれ1つずつ選び、その番号を教えてください。

## 1. 保険の対象および契約方法について

- ア. この保険において、125cc以下の原動機付自転車は、生活用動産として保険の対象に含まれる。
- イ. この保険における生活用動産とは、生活の用に供する家具、衣服その他の生活に必要な動産をいい、建物に収容されていない物を含める。
- ウ. この保険では、主契約である火災保険契約締結時に保険契約者から地震保険を付帯する旨の申し出があった場合に地震保険を引き受ける。

## 《選択肢》

- |             |          |          |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 2. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 4. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |



## 2. 損害の認定および保険金の支払いについて

- ア. この保険では、地震により保険の対象である建物の焼失または流失した部分の床面積がその建物の延床面積の 50%以上 80%未満の場合、大半損と認定される。
- イ. この保険では、保険期間が始まった後でも、地震保険契約の保険料と地震保険契約が付帯されている火災保険契約（主契約）の保険料との合計額を領収する前に生じた事故による損害に対しては、保険金は支払われない。
- ウ. この保険では、1回の地震等における保険金の総支払限度額が定められているため、個々の保険契約で支払われる保険金は総支払限度額を超えないよう、常に支払われるべき保険金からあらかじめ一定の額が削減される。

## 《選択肢》

- |             |          |          |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 2. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 4. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

## 【問題7】

Bさんは、自分の住居専用建物と同建物内収容の生活用動産（家財）を保険の対象として、建物の保険金額は4,000万円、生活用動産（家財）の保険金額は1,000万円で住宅総合保険契約を締結しました。その際、同時に「地震保険に関する法律」に基づく地震保険を付帯することとし、地震保険契約の保険金額を、建物、生活用動産（家財）とも契約できる最高額で設定しました。

過日、地震に起因する火災により、建物および生活用動産（家財）が損害を被りました。損害の状況が以下の場合、次の1および2の金額を解答用紙に記入してください。

なお、地震発生時のこの建物および生活用動産（家財）の保険価額は、いずれも主契約である住宅総合保険契約の保険金額と同額とします。また、算出した額に1万円未満の端数が生じた場合には、千円の位を四捨五入して万円単位で答えてください。

[損害の状況]

	建 物	生活用動産（家財）
損害割合	20%	75%

(注) 建物の焼失床面積は考慮不要とし、建物の損害割合は、地震に起因した火災による地震保険における主要構造部の損害割合とします。

- 地震保険から建物および生活用動産（家財）の損害に対して支払われる保険金は、それぞれいくらになりますか。
- 主契約である住宅総合保険から建物および生活用動産（家財）に対して支払われる地震火災費用保険金は、それぞれいくらになりますか。  
なお、支払われない場合は、解答用紙に「なし」と記入してください。

**【問題 8】**

次の1～6の記述は、火災保険による債権の保全について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. 抵当権は、土地や建物など使用価値が高く、債務者から取り上げてしまうと個人の生活や企業の活動等が著しく阻害されるような目的物を担保にする場合に広く利用されている。
2. 保険金請求権に質権を設定する場合、債権者（質権者）も保険契約の当事者であるため、債権者（質権者）も保険契約上の義務を負うという短所がある。
3. 火災保険の保険金請求権に対する質権の設定は、質権者と質権設定者の契約によって成立する諾成契約で、質権者は被担保債権の債権者であり、質権設定者は担保物に付された火災保険の被保険者である。
4. 一つの保険金請求権に対して複数の質権が設定されている場合、後順位の質権者は先順位の質権者（証券占有者）から保険証券の代理占有の承諾を取りつける必要がある。
5. 臨時費用、残存物取片づけ費用などの費用保険金および利益保険などの各保険金の請求権には、質権の効力が及ぶため、質権設定承認請求書にその旨を明記する必要はない。
6. 保険契約と同時に質権の設定を行う場合で保険証券の作成が後日となるときは、質権は保険証券作成日から有効となる。

**【問題9】**

次の1～5の記述は、新種保険について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. 建設工事保険では、工事現場における設計・施工の欠陥、作業上の過失・拙劣などによる損害には保険金が支払われるが、材質の欠陥による損害には保険金は支払われない。
2. 機械保険において、保険金額は新調達価額と同額とするが、その中に機械を運転可能な状態に設置するために要する費用（組立・据付費、運賃等の費用）は含まない。
3. 動産総合保険では、展覧会・見本市などの出品物を保険の対象とする場合、展示中のみの危険を対象とすることは可能である。
4. 土木工事保険の控除額（免責金額）は、一般的に、全ての事故による損害に対して、工事の種類・規模などに応じて都度設定する。
5. 賠償責任保険の生産物特別約款では、欠陥のある製品自体の修理費用、取壊費用、回収費用に対して、保険金が支払われる。

## 【問題 10】

自動車保険の対物賠償保険に関する次の 1 および 2 の記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢からそれぞれ 1 つずつ選び、その番号を教えてください。

## 1. 被保険者の範囲について

- ア. この保険では、記名被保険者の配偶者（内縁関係の者は除く）が被保険自動車を使用または管理している場合、当該配偶者は常に被保険者になる。
- イ. この保険では、記名被保険者から承諾を得て被保険自動車を使用または管理中の許諾被保険者が、記名被保険者の知らないままにさらに他人に自動車を使用させた場合の借主も被保険者となる。
- ウ. この保険において、記名被保険者の使用者が被保険者となるケースは、記名被保険者が被保険自動車を使用者（請負契約、委任契約またはこれらに類似の契約に基づき記名被保険者の使用者に準ずる地位にある者も含まれる）の業務に使用している場合に限られる。

## 《選択肢》

- |             |          |          |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 2. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 4. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

## 2. 保険金支払額・請求について

- ア. この保険において、被保険者が被害者に対し負担する法律上の損害賠償責任の額には、例えば、被害財物の交換価格、修理費、休車損害などがある。
- イ. この保険では、保険金請求権が発生したときの翌日から起算して5年を経過した場合、請求権は時効により消滅する。
- ウ. この保険において、損害額の算定に当たり他の保険契約または共済契約がある場合で、それぞれの保険契約または共済契約に免責金額の適用があるときには、そのうち最も高い免責金額を差し引く。

## 《選択肢》

- |             |          |          |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 2. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 4. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

## 【問題 11】

保険価額の評価に関する次の記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から1つ選び、その番号を答えてください。

- ア. 建物の付帯設備（電気、通信、ガス、給排水、冷暖房、エレベーター等）は、基本的に建物を構成する一要素であり建物の一部として評価されるが、必要に応じて建物本体と分けて評価することが大切である。
- イ. 家財の再調達価額の評価に当たっては、まず対象家庭の家族構成（男女別、年齢別）、その消費生活等の実態（職業、資産、収入、趣味、嗜好、生活様式等）などを把握する。
- ウ. 取得年度の古い営業用什器・備品の再調達価額の評価は、資産台帳等で評価対象什器・備品の原始取得価額と同取得年度を調べて、これに価格変動率を用いて把握する。

## 《選択肢》

- |             |          |          |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 2. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 4. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

**【問題 12】**

次の1～8の記述は、損害保険契約に関する法律知識について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. 保険法において、第三者のためにする損害保険契約は、被保険者が受益の意思表示を行うことによって、その保険契約の利益を享受する。
2. 保険価額の評価は、損害が生じた地におけるその時の被保険利益の価額を原則とするが、海上保険では、海難や行方不明など、その地その時を判定することが困難なケースも少ないため、商法で協定保険価額という特則を設けている。
3. 保険約款では、損害発生の通知義務違反があった場合、保険者は保険契約者または被保険者に損害賠償請求ができると認められる額を差し引いて保険金を支払うと規定している。
4. 損害保険契約の締結後に危険が著しく減少した場合でも、保険契約者は、保険者に対して未経過期間について危険の減少に対応する保険料の減額を請求することはできない。
5. 保険事故により保険の目的物に損害が発生した場合で、その後に当該損害に係る保険の目的物が保険事故以外の事由で滅失したときでも、保険者は、最初の保険事故によって生じた損害をてん補しなければならない。
6. 損害保険契約の解除は、売買契約などの一般的な契約と同じく、契約締結時にさかのぼってその効力が生じる。
7. 損害保険契約の締結後に危険増加が生じた場合、危険増加が引受範囲内であっても、危険増加にかかる告知事項の内容に変更が生じ、保険契約者または被保険者がその旨を軽過失によって遅滞なく通知しなかったときには、保険者は当該損害保険契約を解除することができる。
8. 保険価額3,000万円の建物に、A社（保険金額：2,400万円）、B社（保険金額：1,600万円）の火災保険契約が締結されている場合、「独立責任額全額方式」では、建物が全焼した際、被保険者がA社に先に請求し、後にB社に請求したときには、保険金がそれぞれ支払われた後に、A社からB社に600万円求償する。



**【問題 13】**

次の1～8の記述は、損害賠償に関する法律知識について述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. ある違法行為が発生し、その行為が不法行為責任と債務不履行責任の両方に該当する場合、債務不履行責任は不法行為責任に優先することから、被害者は、加害者に対して、債務不履行責任により損害賠償を請求するというのが判例の立場である。
2. 使用者等の責任に関し、使用者側の免責事由として、民法上「使用者等が被用者の選任につき相当の注意をした」という証明があること、「被用者の選任について「相当の注意をしても損害は生じたであろう」という証明があること」の2点が規定され、被用者の監督までは規定されていない。
3. 土地の工作物の設置または保存に瑕疵がなくても損害が生じるほどの不可抗力の場合でも、土地の工作物の占有者は第一次的に損害賠償責任を負い、その占有者が免責されたときに所有者が第二次的に損害賠償責任を負う。
4. 判例では、警察権の行使、強制執行、租税徴収などの権力的行為に加え、国公立学校教育活動などの非権力的行為も「公権力の行使」に含まれるとされている。
5. 人の生命または身体を害する不法行為による損害賠償請求権の消滅時効は、「5年間」である。
6. 履行遅滞における帰責事由については、事由が存在しないことを債務者が挙証すべきとされており、事実上挙証責任が転換されている。
7. 履行不能または履行遅滞により契約を解除した後の損害賠償額は、「契約解約時の時価」を基準として算定される。
8. 金銭の給付を目的とする債務の不履行の場合、債務者は、債務の不履行が不可抗力によるものであることを証明しても、損害賠償責任を免れることができない。

## 【問題 14】

個人情報保護法に関する次の記述の正誤の組合せとして、正しいものを下の選択肢から1つ選び、その番号を答えてください。

- ア. この法律において、個人情報取扱事業者は、第三者から個人データの提供を受ける際、人の生命、身体または財産の保護のために必要があり、本人の同意を得ることが困難である場合、当該第三者の氏名または名称および住所、法人であれば代表者氏名に加え、当該第三者による個人データ取得の経緯を確認する必要はない。
- イ. この法律が対象とする個人情報には、身体の一部の特徴（DNA や指紋等）を文字・記号等の電子データに変換した情報も含まれ、その生死は問われない。
- ウ. 個人情報保護法で定める個人情報について、損害保険関係では、保険契約者や被保険者などの個人（保険金受取人は除く）に関する情報やリスク度合い判定などの評価情報が該当する。

## 《選択肢》

- |             |          |          |
|-------------|----------|----------|
| 1. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 2. ア. 正しい   | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 3. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 4. ア. 正しい   | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |
| 5. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 正しい   |
| 6. ア. 誤っている | イ. 正しい   | ウ. 誤っている |
| 7. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 正しい   |
| 8. ア. 誤っている | イ. 誤っている | ウ. 誤っている |

**【問題 15】**

次の1～6の記述は、リスクマネジメントについて述べたものです。その内容が正しいものには○で、誤っているものには×で、それぞれ答えてください。

1. リスクの管理・処理に要する費用はリスク・コストと呼ばれており、その中に含まれるリスクの管理費用の例として、保険を付保した場合の保険料がある。
2. 投機的リスクとは、「利得を得る可能性」と「損失を被る可能性」のあるリスクのことをいい、市場リスク、流動性リスク、有形資産リスクなどが含まれる。
3. 純粹リスクでも、台風・洪水・地震などの異常災害リスクは、広い地域に同時に損害が発生するため、リスクが独立しておらず、分散が困難なリスクである。
4. レトロ方式の保険契約において、保険契約者は、最高保険料以下の累計損害額に対しては保険料の形で「リスクを保有」し、最高保険料を超える累計損害額については保険会社に「リスクを移転」する。
5. 製造物責任（PL）とは、製品自体の欠陥により消費者など第三者の身体や財物に与えた損害に対して製品供給者が負う損害賠償責任であるが、その損害が当該製造物についてのみ生じた場合でも製造物責任が生じる。
6. 近年、集中豪雨によって排水が困難になり、市街地に水が溢れ出し、浸水する「外水氾濫」による被害が増加傾向にある。